

人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

淀川大橋リニューアル工事 2017(平成29)年～2020(令和2)年



大正・昭和・平成 そして令和へ
次の100年に向けた修繕を実施



国道2号

淀川大橋



次の100年へ。

大阪国道事務所
ホームページ



人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

老朽化したコンクリート床版を鋼製床版へ取り替えることにより、
約60%軽量化を図り橋台・橋脚への負担を軽減。
その結果、耐震性能が向上！

取替前

老朽化したコンクリート床版
約12,000t

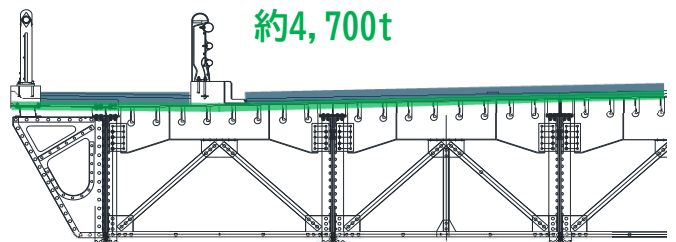


当初は路面電車に対応するため床版が厚い構造



取替後

鋼製床版
約4,700t



老朽化した床版を、新しく軽い床版へ取替



旧床版の撤去の様子



床版と桁を剥離



床版をクレーンで撤去



床版撤去後の様子



国道2号

淀川大橋



大阪国道事務所
ホームページ



人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

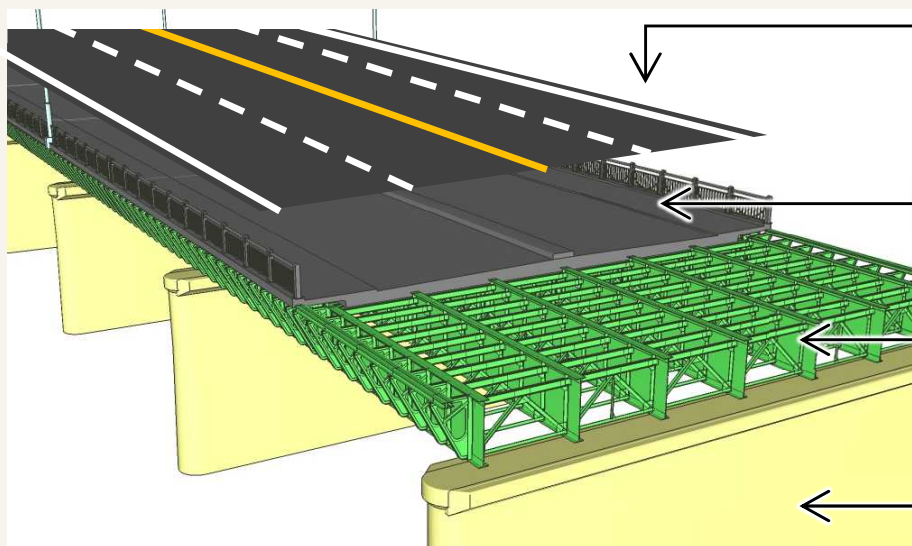
YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

リニューアル工事の手順

4車線ある淀川大橋を2車線規制し、走行位置を切替えながら3期に区切り工事を実施しました。



橋の構造



舗装

床版の上面に施工され、車両や歩行者の走行性・安全性を確保する層です。

床版

橋桁の上に設置され、車両や歩行者が直接通行する板状の構造物です。

橋桁

橋脚の間に架け渡され、床版や車両の荷重を支える部材です。

橋脚

橋を支える柱の役割を果たす構造物です。上部構造の荷重を地盤に伝えます。

新床版の設置の様子



国道2号

淀川大橋



次の100年へ。

大阪国道事務所
ホームページ

